令和２年度用 小学校理科用

**東京書籍**

「新しい理科」　第３学年

**臨時休業明けの**

**年間指導計画参考資料**

本資料は,令和2年度用教科書「新しい理科」に基づいて,学校での授業と,学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を示したものです。学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動をできるだけ多く取り入れる場合を想定しています。地域や学校の状況に合わせて，適宜，教材・学習活動を増減していただくなどしてご活用ください。また，様々な工夫や取組を行った上でなお，学習内容を年度内に終えることが困難な場合は，特例的な措置として，次年度に送る等の対応も考えられます。各学校の状況に応じて，適切にご判断ください。次年度に送る際は，担当教員間の引継ぎにもご配慮ください。

次年度に送る際は、今年度の移行措置内容に十分ご留意いただくとともに、（←中学のみの記載です）担当教員間の引継ぎにもご配慮ください。。

**1**

**春のしぜんにとび出そう　４月上旬～中旬／４(５)時間**

**学習指導要領の項目　B(1)ア(ア)イ**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **単元の目標** | **単元の観点別評価規準** | | | | | | |
| 身の回りの生き物を探す中で，これらの様子に着目して，それらを比較しながら，生き物のすがたを調べる活動を通して，それらについての理解を図り，観察などに関する技能を身に付けるとともに，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や生き物を愛護する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。 | **知識・技能〔知〕** | ①生き物は，色，形，大きさなど，すがたに違いがあることを理解  している。  ②身の回りの生き物のすがたについて，器具や機器などを正しく扱  いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録  している。 |  | **思考・判断・表現〔思〕** | ①身の回りの生き物のすがたについて，差異点や共通点を基  に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決している。  ②身の回りの生き物のすがたについて，観察などを行い，得  られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決して  いる。 | **主体的に学習に取り組む態度〔態〕** | ①身の回りの生き物のすがたについての事物・現象に進んで  関わり，他者と関わりながら問題解決しようとしている。  ②身の回りの生き物のすがたについて学んだことを学習や生  活に生かそうとしている。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **主な学習活動** | | 時間 | 教科書の  ページ | 重点 | 記録 | **評価の観点と方法** | **学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動** |
| **1**  生き物のすがた | |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・野外観察での注意事項を知り，校庭や学校の周りで，生き物を探して，記録する。  ・見つけた生き物のすがたを比べ，似ているところや違うところを見つけて発表し合い，春に見られる生き物のすがたについて調べる問題を見いだす。  ・虫眼鏡の使い方を知る。 | 2 | 6～8 | **態** | ◎ | **〔態①〕**春の生き物を探す活動に進んで取り組み，友達と協力していろいろな生き物を探し，記録しようとしているかを評価する。 **【行動観察】** |  |
| **思** | ◎ | **〔思①〕**見つけた生き物について気づいたことや疑問に思ったことから，差異点や共通点を基に，生き物のすがたについて問題を見いだし，表現しているかを評価する。  **【発言分析・記述分析】** |
| ・校庭や学校の周りで，生き物を，色，形，大きさなどに着目しながら観察して，記録する。  **（観察１）** | 1 | 9 | **知** | ◎ | **〔知②〕**生き物のすがたについて，虫眼鏡を正しく扱いながら観察し，色，形，大きさなどの特徴を分かりやすく記録しているかを評価する。 **【行動観察・記録分析】** |  |
| ・観察したことを発表し合う。  ・生き物は，それぞれ，色，形，大きさなどのすがたが違うことをまとめる。  ・観察記録を集めて，生き物図鑑を作る。 | 1  ⑵ | 10～13 | **思** |  | **〔思②〕**生き物のすがたについて，観察した結果を基に考察し，表現しているかを確認する。 **【発言分析・記述分析】** | p.13「たしかめよう」の問題を解く。  0.3時間 |
| **知** | ◎ | **〔知①〕**生き物は，色，形，大きさなど，すがたに違いがあることを理解しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** |
| **態** |  | **〔態②〕**生き物のすがたについて学んだことを生かして，色，形，大きさなどの特徴で検索しやすい「生き物図鑑」を工夫して作ろうとしているかを確認する。 **【発言分析・行動観察】** |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　重点……重点的に子どもの学習状況を確認する観点 合計0.3時間

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記録……全員の子どもの学習状況を記録に残す観点

**2**

**たねをまこう　４月下旬～５月上旬／３時間**

**学習指導要領の項目　B(1)ア(ウ)イ**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **単元の目標** | **単元の観点別評価規準** | | | | | | |
| 植物を育てる中で，成長の過程や体のつくりに着目して，それらを比較しながら，植物の成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して，それらについての理解を図り，観察などに関する技術を身に付けるとともに，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や生き物を愛護する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。 | **知識・技能〔知〕** | ①植物の育ち方には一定の順序があること，また，その体は根，茎  及び葉からできていることを理解している。  ②植物について，器具や機器などを正しく扱いながら調べ，それら  の過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 |  | **思考・判断・表現〔思〕** | ①植物の成長のきまりや体のつくりについて，差異点や共通  点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決し  ている。  ②植物の成長のきまりや体のつくりについて，観察などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。 | **主体的に学習に取り組む態度〔態〕** | ①植物の成長のきまりや体のつくりについての事物・現象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとしている。  ②植物の成長のきまりや体のつくりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 |

※「単元の目標」に示した資質・能力は，「植物を育てよう1～4」を通して育成する。そのため，各観点の学習評価も，

「植物を育てよう1～4」を通して適切な場面で行い，子どもの学習状況を見取るようにする。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **主な学習活動** | | 時間 | 教科書の  ページ | 重点 | 記録 | **評価の観点と方法** | **学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動** |
| **1**  たねまき | |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・いろいろな植物の種と花，実の写真を見て，気づいたことや疑問に思ったことを発表し合い，植物の育ち方について調べる問題を見いだす。  ・虫眼鏡を使って種を観察する。  ・育てる植物を選んで，種をまく。 | 1 | 14～18 | **思** | ◎ | **〔思①〕**いろいろな植物の種と花，実の写真を見る中で気づいたことや疑問に思ったことから，差異点や共通点を基に，植物の育ち方について問題を見いだし，表現しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** | ※6月以降に種まきを行う場合は，ヒマワリを選ぶとよい。また，教科書には掲載されていないが，マリーゴールドやアサガオを栽培することも考えられる。地域にもよるが，ホウセンカ，オクラ，ピーマンは6月以降の種まきには適していない。 |
| **知** | ◎ | **〔知②〕**植物の種について，虫眼鏡を正しく扱いながら観察し，得られた結果を分かりやすく記録するとともに，種を正しい手順と方法でまいているかを評価する。  **【行動観察・記録分析】** |
| **2**  めが出た後のようす |  |  |  |  |  | p.21「学びを生かして深めよう」の学習活動  0.3時間  p.21「学びを生かして深めよう」の学習活動  0.3時間 |
| ・芽生えを観察して記録カードに記録する。  **（観察１）**  ・種が発芽すると子葉が出てくることをまとめる。  ・さまざまな植物の芽生えの様子を見て，似ているところを探す。 | 2 | 19～21 | **知** | ◎ | **〔知①〕**植物の育ち方には，種から芽が出るという一定の順序があることを理解しているかを評価する。  **【発言分析・記述分析】** | p.19「かんさつ1」の学習活動  0.5時間  ※育てている植物と虫眼鏡を持ち帰る必要がある。また，栽培の仕方や観察の方法を教師が指導しておく。持ち帰ったら，そのままp.37の「かんさつ1」を行うまで栽培を続ける。  p.21「学びを生かして深めよう」の学習活動  0.5時間 |
| **態** |  | **〔態①〕**植物を育てる活動に進んで取り組み，友達と協力して水やりなどを行ったり，観察結果などを互いに伝え合ったりしながら，問題解決しようとしているかを確認する。  **【発言分析・行動観察】** |

　　　　　　　重点…重点的に子どもの学習状況を確認する観点　　　　　　　合計1.0時間

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記録……全員の子どもの学習状況を記録に残す観点

**3**

**チョウを育てよう　５月上旬～下旬／６(６)時間**

**学習指導要領の項目　B(1)ア(イ)イ**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **単元の目標** | **単元の観点別評価規準** | | | | | | |
| 昆虫を育てる中で，成長の過程や体のつくりに着目して，それらを比較しながら，昆虫の成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して，それらについての理解を図り，観察などに関する技能を身に付けるとともに，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や生き物を愛護する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。 | **知識・技能〔知〕** | ①昆虫の育ち方には一定の順序があること，また，成虫の体は頭，胸及び腹からできていることを理解している。  ②昆虫について，器具や機器などを正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 |  | **思考・判断・表現〔思〕** | ①昆虫の成長のきまりや体のつくりについて，差異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決している。  ②昆虫の成長のきまりや体のつくりについて，観察などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。 | **主体的に学習に**  **取り組む態度〔態〕** | ①昆虫の成長のきまりや体のつくりについての事象・現象に進んで他者と関わりながら問題解決しようとしている。  ②昆虫の成長のきまりや体のつくりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 |

※「単元の目標」に示した資質・能力は，「こん虫を育てよう1～2」及び「こん虫を調べよう」を通して育成する。そのため，各観点の

学習評価も，「こん虫を育てよう1～2」及び「こん虫を調べよう」を通して適切な場面で行い，子どもの学習状況を見取るようにする。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **主な学習活動** | | 時間 | 教科書の  ページ | 重点 | 記録 | **評価の観点と方法** | **学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動** |
| **1**  キャベツ畑のようす | |  |  |  |  |  |  |
| **2**  チョウの育ち方 |  |  |  |  |  |  |  |
| ・モンシロチョウがキャベツ畑と花畑に飛んできている資料写真を見比べて，気づいたことや疑問に思ったことを発表し合い，モンシロチョウがキャベツ畑に飛んできているのはなぜかに問題を見いだす。  ・キャベツの葉を調べ，モンシロチョウの卵を採取する。 **（観察１）** | 1 | 22～25 | **思** | ◎ | **〔思①〕**モンシロチョウの資料写真を見る中で気づいたことや疑問に思ったことから，差異点や共通点を基に，モンシロチョウがキャベツ畑に飛んできている理由について問題を見いだし，表現しているかを評価する。  **【発言分析・記述分析】** |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  | ・モンシロチョウの卵や幼虫の飼い方を知り，育てる。  ・卵や幼虫の様子を観察して，モンシロチョウの卵を採取する。 **（観察２）** | 1 | 26～27 | **思** |  | **〔思①〕**モンシロチョウの卵や幼虫を観察する中で気づいたことや疑問に思ったことから，差異点や共通点を基に，モンシロチョウの育ち方について問題を見いだし，表現しているかを確認する。 **【発言分析・記述分析】** | p.26「かんさつ2」の学習活動  0.5時間  ※卵や幼虫，虫眼鏡を持ち帰る必要がある。持ち帰ったら，観察の前後に手を洗うことなどの注意事項を含め，観察の方法や卵や幼虫の飼い方を教師が指導しておく。そのままp.33「かんさつ4」を行うまで飼育を続ける。  ※教科書のＱＲコンテンツも見るよう促すとよい。 |
| **知** | ◎ | **〔知②〕**モンシロチョウの卵や幼虫について，虫眼鏡を正しく扱いながら観察し，色，形，大きさなどの特徴を分かりやすく記録しているかを評価する。 **【行動観察・記録分析】** |
| ・蛹の様子を観察して，記録カードに記録する。  **（観察３）** | 1 | 28～29 | **知** |  | **〔知②〕**モンシロチョウの蛹について，虫眼鏡を正しく扱いながら観察し，色，形，大きさなどの特徴を分かりやすく記録しているかを確認する。 **【行動観察・記録分析】** | p.28「かんさつ3」の学習活動  0.5時間  ※観察の前後に手を洗うことなどの注意事項を含め，観察の方法を教師が指導しておく。 |
|  | ・蛹から出てきた成虫の様子を観察して，記録カードに記録する。  ・チョウの卵から成虫までの成長変化について記録を整理する。  ・チョウの育ち方についてまとめる。 | 1 | 30～32 | **態** | ◎ | **〔態①〕**モンシロチョウを育てる活動に進んで取り組み，卵から成虫までの育ち方について，友達と互いに観察結果などを伝え合いながら，問題解決しようとしているかを評価する。 **【発言分析・行動観察】** | p.32「学びを生かして深めよう」の学習  0.1時間 |
|  | **知** | ◎ | **〔知①〕**チョウは，卵→幼虫→蛹→成虫の順に育つことを理解しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** |
| **態** | ◎ | **〔態②〕**チョウの育ち方について学んだことを生かして，身の回りに見られる他のチョウの育ち方について考えようとしているかを評価する。 **【発言分析・行動観察】** |
| **3**  成虫のからだのつくり |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | ・チョウの成虫の体のつくりを調べる。**（観察４）**  ・昆虫の定義を知る。  ・チョウの育ち方と体のつくりについて，学んだことをまとめる。 | 2 | 33～35 | **知** | ◎ | **〔知①〕**チョウの育ち方や成虫の体のつくりについて理解しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** | p.33「かんさつ4」の学習活動  0.5時間  ※観察の前後に手を洗うことなどの注意事項を含め，観察の方法を教師が指導しておく。  ※観察が終わったら，卵を見つけた場所に放すよう指導しておく。  p.35「たしかめよう」の問題を解く。  0.3時間 |

￥

重点……重点的に子どもの学習状況を確認する観点　　記録……全員の子どもの学習状況を記録に残す観点 合計1.9時間

**どれぐらい育ったかな　６月上旬／２(２)時間**

**学習指導要領の項目　B(1)ア(ウ)イ**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **単元の目標** | **単元の観点別評価規準** | | | | | | |
| 植物を育てる中で，成長の過程や体のつくりに着目して，それらを比較しながら，植物の成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して，それらについての理解を図り，観察などに関する技能を身に付けるとともに，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や生き物を愛護する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。 | **知識・技能〔知〕** | ①植物の育ち方には一定の順序があること，また，その体は根，茎  及び葉からできていることを理解している。  ②植物について，器具や機器などを正しく扱いながら調べ，それら  の過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 |  | **思考・判断・表現〔思〕** | ①植物の成長のきまりや体のつくりについて，差異点や共通  点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決し  ている。  ②植物の成長のきまりや体のつくりについて，観察などを行  い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解  決している。 | **主体的に学習に取り組む態度〔態〕** | ①植物の成長のきまりや体のつくりについての事物・現象に  進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとして  いる。  ②植物の成長のきまりや体のつくりについて学んだことを学  習や生活に生かそうとしている。 |

※「単元の目標」に示した資質・能力は，「植物を育てよう1～4」を通して育成する。そのため，各観点の学習評価も，

「植物を育てよう1～4」を通して適切な場面で行い，子どもの学習状況を見取るようにする。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **主な学習活動** | | 時間 | 教科書の  ページ | 重点 | 記録 | **評価の観点と方法** | **学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動** |
| **1**  植物の育ち方 | |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・育てている植物の様子を観察して，記録カード  に記録する。　　　　　　　　　　　**（観察１）**  ・植物の育ち方についてまとめる。  ・育てている植物の植え替えをする。（時間がな  ければ，植え替えは課外で行う。）  ・土の中の植物の様子に着目し，植物の体のつく  りについて調べる問題を見いだす。 | 1 | 36～38 | **知** | ◎ | **〔知②〕**育てている植物を観察し，色，形，大きさなどの特徴を分かりやすく記録しているかを評価する。  **【行動観察・記録分析】** | p.37「かんさつ1」の学習活動  0.5時間 |
| **知** |  | **〔知①〕**植物の育ち方には，子葉が出た後，葉が出て茂り，成長するという一定の順序があることを理解しているかを確認する。 **【行動観察・記録分析】** |
| **2**  植物のからだのつくり |  |  |  |  |  |  |
| ・植物の苗を観察して体のつくりを調べ，記録する。　　　　　　　　　　　　　　　**（観察２）**  ・観察したことを発表し合い，共通点を基に植物の体のつくりについてまとめる。  ・校庭や野原などに見られるいろいろな植物の体のつくりを調べる。 | 1 | 39～41 | **知** | ◎ | **〔知①〕**植物の体は，どれも，根，茎及び葉からできていることを理解しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** | p.41「学びを生かして深めよう」の学習活動  0.5時間  ※図鑑などの資料やインターネットを活用して行う。ただし，学習活動を行う場において，調べるための環境が整っている必要がある。  ※野外で活動を行う場合は，必ず保護者が同行する。 |
| **態** | ◎ | **〔態②〕**植物の体のつくりについて学んだことを生かして，身の回りの植物の体のつくりを調べようとしているかを評価する。  **【発言分析・行動観察】** |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　重点……重点的に子どもの学習状況を確認する観点 合計1.0時間

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記録……全員の子どもの学習状況を記録に残す観点

**トンボやバッタを育てよう　６月中旬／３(３)時間**

**学習指導要領の項目　B(1)ア(イ)イ**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **単元の目標** | **単元の観点別評価規準** | | | | | | |
| 昆虫を育てる中で，成長の過程や体のつくりに着目して，それらを比較しながら，昆虫の成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して，それらについての理解を図り，観察などに関する技能を身に付けるとともに，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や生き物を愛護する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。 | **知識・技能〔知〕** | ①昆虫の育ち方には一定の順序があること，また，成虫の体は頭，胸及び腹からできていることを理解している。  ②昆虫について，器具や機器などを正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 |  | **思考・判断・表現〔思〕** | ①昆虫の成長のきまりや体のつくりについて，差異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決している。  ②昆虫の成長のきまりや体のつくりについて，観察などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。 | **主体的に学習に取り組む態度〔態〕** | ①昆虫の成長のきまりや体のつくりについての事象・現象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとしている。  ②昆虫の成長のきまりや体のつくりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 |

※「単元の目標」に示した資質・能力は，「こん虫を育てよう1～2」及び「こん虫を調べよう」を通して育成する。そのため，各観点の

学習評価も，「こん虫を育てよう1～2」及び「こん虫を調べよう」を通して適切な場面で行い，子どもの学習状況を見取るようにする。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **主な学習活動** | | 時間 | 教科書の  ページ | 重点 | 記録 | **評価の観点と方法** | **学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動** |
| **1**  トンボやバッタの育ち方 | |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・トンボやバッタの幼虫と成虫の写真を見て，気づいたことや疑問に思ったことを発表し合い，トンボやバッタの育ち方について調べる問題を見いだす。 | 1 | 42～43 | **思** | ◎ | **〔思①〕**トンボやバッタの育ち方とチョウの育ち方を比較する中で気づいたことや疑問に思ったことから，差異点や共通点を基に，トンボやバッタの育ち方について問題を見いだし，表現しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** |  |
|
|  | ・トンボやバッタの幼虫を飼って成虫になるまで育て，チョウの育ち方と比べる。 **（観察１）** | 1 | 43～45 | **態** | ◎ | **〔態①〕**トンボやバッタを育てる活動に進んで取り組み，友達と協力して飼育したり，トンボやバッタの育ち方についての観察結果などを互いに伝え合ったりしながら，問題解決しようとしているかを評価する。 **【発言分析・行動観察】** |  |
| ・不完全変態の昆虫の育ち方をチョウ（完全変態）の育ち方と比べて，昆虫の育ち方をまとめる。（適期に扱う。） | 1 | 45～47 | **思** | ◎ | **〔思②〕**トンボやバッタの育ち方についてのこれまでの記録を基に，チョウの育ち方との違いについて考察し，表現しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** | p.47「理科のひろば」を読む。  0.1時間  p.47「たしかめよう」の問題を解く。  0.2時間 |
| **知** | ◎ | **〔知①〕**昆虫には，卵→幼虫→蛹→成虫の順に育つものと，卵→幼虫→成虫の順に育つものがいることを理解しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　重点……重点的に子どもの学習状況を確認する観点 合計0.3時間

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記録……全員の子どもの学習状況を記録に残す観点

**4**

**風やゴムで動かそう　６月中旬〜７月上旬／７(８)時間**

**学習指導要領の項目　A(2)ア(ア)(イ)イ**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **単元の目標** | **単元の観点別評価規準** | | | | | | |
| 風とゴムの力と物の動く様子に着目して，それらを比較しながら，風とゴムの力の働きを調べる活動を通して，それらについての理解を図り，実験などに関する技能を身に付けるとともに，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。 | **知識・技能〔知〕** | ①風の力は，物を動かすことができること，また，風の力の大きさを変えると，物が動く様子も変わることを理解している。  ②ゴムの力は，物を動かすことができること，また，ゴムの力の大きさを変えると，物が動く様子も変わることを理解している。  ③風とゴムの力の働きについて，器具や機器などを正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 |  | **思考・判断・表現〔思〕** | ①風とゴムの力の働きについて，差異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決している。  ②風とゴムの力の働きについて，実験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。 | **主体的に学習に取り組む態度〔態〕** | ①風とゴムの力の働きについての事物・現象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとしている。  ②風とゴムの力の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **主な学習活動** | | 時間 | 教科書の  ページ | 重点 | 記録 | **評価の観点と方法** | **学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動** |
| **1**  風のはたらき | |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・風で動く車を作り，うちわであおいで車を動かす。  ・車を動かしてみて，気づいたことや疑問に思ったことを発表し合い，風の働きについて調べる問題を見いだす。 | 1 | 48～50 | **思** | ◎ | **〔思①〕**風で動く車を走らせる中で気づいたことや疑問に思ったことから，差異点や共通点を基に，風の働きについて問題を見いだし，表現しているかを評価する。  **【発言分析・記述分析】** |  |
|
|  | ・風の強さによって物の動き方がどのように変わるか予想する。  ・問題を解決するための実験の方法を考える。  ・車に当てる風の強さを変えて，車の動き方の違いを調べる。 **（実験１）** | 1  ⑵ | 51～53 | **知** | ◎ | **〔知③〕**送風機などを正しく扱いながら，車に当てる風の強さを変えて車の動き方を調べ，得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。 **【行動観察・記録分析】** |  |
| ・風の働きについて考え，風の強さの違いによる物の動き方の違いをまとめる。 | 1 | 54 | **思** | ◎ | **〔思②〕**風の強さによる車の動き方について，得られた結果を基に考察し，表現しているかを評価する。  **【発言分析・記述分析】** |  |
| **知** |  | **〔知①〕**風には物を動かす働きがあり，その大きさは，風が強くなるほど大きくなることを理解しているかを確認する。  **【発言分析・記述分析】** |
| **2**  ゴムのはたらき |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | ・ゴムを伸ばしたときのゴムの力を体感する。  ・ゴムで動く車を作り，車を動かす。  ・車を動かしてみて，気づいたことや疑問に思ったことを発表し合い，ゴムの働きについて調べる問題を見いだす。 | 1 | 55 | **思** | ◎ | **〔思①〕**ゴムで動く車を走らせる中で気づいたことや疑問に思ったことから，差異点や共通点を基に，ゴムの働きについて問題を見いだし，表現しているかを評価する。  **【発言分析・記述分析】** |  |
|  | ・ゴムを伸ばし方によって物の動き方がどのように変わるか予想する。  ・問題を解決するための実験の方法を考える。  ・ゴムの伸ばし方を変えて，車の動き方の違いを調べる。 **（実験２）** | 2 | 56～57 | **態** | ◎ | **〔態①〕**ゴムの働きを調べる活動に進んで取り組み，友達と互いに予想を伝え合ったり，協力して実験を行ったりしながら，問題解決しようとしているかを評価する。  **【発言分析・行動観察】** |  |
| **知** |  | **〔知③〕**ゴムを伸ばす長さを変えて，車の動き方を定量的に調べ，得られた結果を分かりやすく記録しているかを確認する。 **【行動観察・記録分析】** |

（次のページに続く）　　　　　　　　　　　　　　　　　重点……重点的に子どもの学習状況を確認する観点

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記録……全員の子どもの学習状況を記録に残す観点

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **主な学習活動** | | 時間 | 教科書の  ページ | 重点 | 記録 | **評価の観点と方法** | **学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動** |
|  | ・ゴムの働きについて考え，ゴムを伸ばす長さの違いによる物の動き方の違いをまとめる。  ・ゴールインゲームを行い，ゴムを伸ばす長さを調節して，車を狙った所に止める。  ・風やゴムの働きについて，学んだことをまとめる。 | 1 | 58～59 | **態** | ◎ | **〔態②〕**ゴールインゲームに進んで取り組み，ゴムの働きについて学んだことを生かして，車を狙った所に止めようとしているかを評価する。 **【発言分析・行動観察】** | p.59「たしかめよう」の問題を解く。  0.5時間 |
| **知** | ◎ | **〔知①②〕**風やゴムには物を動かす働きがあり，その大きさは，風が強くなるほど，また，ゴムを伸ばすほど，大きくなることを理解しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　重点……重点的に子どもの学習状況を確認する観点 合計0.5時間

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記録……全員の子どもの学習状況を記録に残す観点

**花がさいたよ　７月中旬／２(２)時間**

**学習指導要領の項目　B(1)ア(ウ)イ**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **単元の目標** | **単元の観点別評価規準** | | | | | | |
| 植物を育てる中で，成長の過程や体のつくりに着目して，それらを比較しながら，植物の成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して，それらについての理解を図り，観察などに関する技能を身に付けるとともに，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や生き物を愛護する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。 | **知識・技能〔知〕** | ①植物の育ち方には一定の順序があること，また，その体は根，茎  及び葉からできていることを理解している。  ②植物について，器具や機器などを正しく扱いながら調べ，それら  の過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 |  | **思考・判断・表現〔思〕** | ①植物の成長のきまりや体のつくりについて，差異点や共通  点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決し  ている。  ②植物の成長のきまりや体のつくりについて，観察などを行  い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解  決している。 | **主体的に学習に取り組む態度〔態〕** | ①植物の成長のきまりや体のつくりについての事物・現象に  進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとして  いる。  ②植物の成長のきまりや体のつくりについて学んだことを学  習や生活に生かそうとしている。 |

※「単元の目標」に示した資質・能力は，「植物を育てよう1～4」を通して育成する。そのため，各観点の学習評価も，

「植物を育てよう1～4」を通して適切な場面で行い，子どもの学習状況を見取るようにする。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **主な学習活動** | | 時間 | 教科書の  ページ | 重点 | 記録 | **評価の観点と方法** | **学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動** |
|  | |  |  |  |  |  |  |
|  | **1**  花がさいたよ |  |  |  |  |  |  |
| ・育ててきた植物の花が咲いた様子を観察して，記録カードに記録する。　　　　　**（観察１）**  ・観察記録を基に，これまでの植物の成長の様子をまとめる。 | 2 | 60～63 | **思** | ◎ | **〔思②〕**これまでの記録を基に，種から芽が出て花が咲くまでの育ち方について考察し，表現しているかを評価する。  **【行動観察・記録分析】** |  |
| **知** |  | **〔知①〕**植物の育ち方には，茎が伸びて葉が茂り，やがて花が咲くという一定の順序があることを理解しているかを確認する。 **【行動観察・記録分析】** |
| **態** | ◎ | **〔態①〕**植物を育てる活動に進んで取り組み，友達と協力して水やりをしたり，これまでの植物の育ち方について互いに伝え合ったりしながら，問題解決しようとしているかを評価する。  **【発言分析・行動観察】** |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　重点……重点的に子どもの学習状況を確認する観点 合計0時間

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記録……全員の子どもの学習状況を記録に残す観点

**実ができたよ　９月上旬～中旬／２(３)時間**

**学習指導要領の項目　B(1)ア(ウ)イ**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **単元の目標** | **単元の観点別評価規準** | | | | | | |
| 植物を育てる中で，成長の過程や体のつくりに着目して，それらを比較しながら，植物の成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して，それらについての理解を図り，観察などに関する技能を身に付けるとともに，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や生き物を愛護する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。 | **知識・技能〔知〕** | ①植物の育ち方には一定の順序があること，また，その体は根，茎  及び葉からできていることを理解している。  ②植物について，器具や機器などを正しく扱いながら調べ，それら  の過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 |  | **思考・判断・表現〔思〕** | ①植物の成長のきまりや体のつくりについて，差異点や共通  点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決し  ている。  ②植物の成長のきまりや体のつくりについて，観察などを行  い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解  決している。 | **主体的に学習に取り組む態度〔態〕** | ①植物の成長のきまりや体のつくりについての事物・現象に  進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとして  いる。  ②植物の成長のきまりや体のつくりについて学んだことを学  習や生活に生かそうとしている。 |

※「単元の目標」に示した資質・能力は，「植物を育てよう1～4」を通して育成する。そのため，各観点の学習評価も，

「植物を育てよう1～4」を通して適切な場面で行い，子どもの学習状況を見取るようにする。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **主な学習活動** | | 時間 | 教科書の  ページ | 重点 | 記録 | **評価の観点と方法** | **学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動** |
| **1**  実ができたよ | |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・育てている植物の花が咲いた後の様子を観察して，記録カードに記録する。　　　　**（観察１）**  ・これまでの観察記録を振り返り，植物の成長の様子をまとめる。 | 1  ⑵ | 68～72 | **知** | ◎ | **〔知②〕**育ててきた植物を観察し，得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。 **【行動観察・記録分析】** |  |
| **態** |  | **〔態②〕**植物を育てながらこれまでに学んだことを生かして，植物の育ち方を振り返り，成長のきまりについて考えようとしているかを確認する。 **【発言分析・行動観察】** |
|  | ・植物の成長の様子について分かったことや考えたことを発表し合う。  ・植物の育ち方についてまとめる。  ・植物の育ち方と体のつくりについて，学んだことをまとめる。 | 1 | 73～75 | **思** |  | **〔思②〕**これまでの記録を基に，植物の育ち方について考察し，表現しているかを確認する。 **【発言分析・記述分析】** | p.75「たしかめよう」の問題を解く。  0.3時間 |
| **知** | ◎ | **〔知①〕**植物の育ち方には，一定の順序があることを理解しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　重点……重点的に子どもの学習状況を確認する観点 合計0.3時間

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記録……全員の子どもの学習状況を記録に残す観点

**5**

**こん虫を調べよう　９月中旬～下旬／４(４)時間**

**学習指導要領の項目　B(1)ア(ア)(イ)イ**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **単元の目標** | **単元の観点別評価規準** | | | | | | |
| 昆虫を探したり育てたりする中で，周辺の環境や体のつくりに着目して，それらを比較しながら，生き物と環境との関わりや昆虫の体のつくりを調べる活動を通して，それらについての理解を図り，観察などに関する技能を身に付けるとともに，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や生き物を愛護する態度，主体的に問題解決しようとする態度を育成する。 | **知識・技能〔知〕** | ①生き物は，周辺の環境と関わって生きていることを理解している。  ②昆虫の成虫の体は頭，胸及び腹からできていることを理解してい  る。  ③身の回りの生き物について，器具や機器などを正しく扱いながら  調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 |  | **思考・判断・表現〔思〕** | ①生き物と環境との関わりや昆虫の体のつくりについて，差  異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして  問題解決している。  ②生き物と環境との関わりや昆虫の体のつくりについて，観  察などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなど  して問題解決している。 | **主体的に学習に取り組む態度〔態〕** | ①生き物と環境との関わりや昆虫の体のつくりについての事  物・現象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決し  ようとしている。  ②生き物と環境との関わりや昆虫の体のつくりについて学ん  だことを学習や生活に生かそうとしている。 |

※「単元の目標」に示した資質・能力は，「こん虫を育てよう1～2」及び「こん虫を調べよう。」を通して育成する。そのため，各観点の

学習評価も，「こん虫を育てよう1～2」及び「こん虫を調べよう」を通して適切な場面で行い，子どもの学習状況を見取るようにする。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **主な学習活動** | | 時間 | 教科書の  ページ | 重点 | 記録 | **評価の観点と方法** | **学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動** |
| **1**  こん虫などのすみか | |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・昆虫などの動物が見つかると思う場所について考え，気づいたことや疑問に思ったことを発表し合い，昆虫のすみかについて調べる問題を見いだす。  ・昆虫などの動物を探して，どんな場所をすみかにしているか調べ，昆虫などの動物とそれらのすみかとの関係についてまとめる。　**（観察１）** | 2 | 76～80 | **思** | ◎ | **〔思①〕**昆虫などの動物が見つかる場所について考える中で気づいたことや疑問に思ったことから，差異点や共通点を基に，昆虫などの動物のすみかについて問題を見いだし，表現しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** | p.80「理科のひろば」を読む。  0.1時間 |
| **態** | ◎ | **〔態①〕**昆虫などの動物のすみかを調べる活動に進んで取り組み，友達と互いに観察結果などを伝え合いながら，問題解決しようとしているかを評価する。 **【発言分析・行動観察】** |
| **知** |  | **〔知①〕**動物は，植物を食べたり，すみかにしたりするなどして，その周辺の環境と関わって生きていることを理解しているかを確認する。 **【発言分析・記述分析】** |
| **2**  こん虫のからだ |  |  |  |  |  |  |
| ・トンボやバッタなどの体のつくりを調べ，チョウの体のつくりと比べながら，昆虫の体のつくりをまとめる。　　　　　　　　　　**（観察２）**  ・昆虫などの動物のすみかや昆虫の体のつくりについて，学んだことをまとめる。 | 2 | 81～83 | **知** | ◎ | **〔知③〕**トンボやバッタなどの体のつくりを，チョウと比較しながら調べ，得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。 **【行動観察・記録分析】** | p.82「学びを生かして深めよう」の学習活動  0.2時間  p.83「たしかめよう」の問題を解く。  0.2時間 |
| **思** | ◎ | **〔思②〕**昆虫の体のつくりについて，観察した結果を基に考察し，表現しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** |
| **知** | ◎ | **〔知①②〕**昆虫などの動物のすみかや昆虫の体のつくりについて理解しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　重点……重点的に子どもの学習状況を確認する観点 合計0.5時間

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記録……全員の子どもの学習状況を記録に残す観点

**6**

**太陽とかげを調べよう　９月下旬〜１０月上旬／６(７)時間**

**学習指導要領の項目　B(2)ア(ア)イ**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **単元の目標** | **単元の観点別評価規準** | | | | | | |
| 日陰や影の位置に着目して，それらを比較しながら，太陽と日陰や影の位置を調べる活動を通して，それらについての理解を図り，観察などに関する技能を身に付けるとともに，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。 | **知識・技能〔知〕** | ①日陰は太陽の光を遮るとでき，日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わることを理解している。  ②太陽と日陰や影の位置について，器具や機器などを正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 |  | **思考・判断・表現〔思〕** | ①太陽と日陰や影の位置について，差異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決している。  ②太陽と日陰や影の位置について，観察などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。 | **主体的に学習に取り組む態度〔態〕** | ①太陽と日陰や影の位置についての事物・現象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとしている。  ②太陽と日陰や影の位置について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **主な学習活動** | | 時間 | 教科書の  ページ | 重点 | 記録 | **評価の観点と方法** | **学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動** |
| **1**  太陽とかげ | |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・影つなぎをして，影について気づいたことや疑問に思ったことを発表し合い，太陽と影について調べる問題を見いだす。 | 1 | 84～86 | **思** | ◎ | **〔思①〕**影つなぎを行う中で気づいたことや疑問に思ったことから，差異点や共通点を基に，太陽と影について問題を見いだし，表現しているかを評価する。**【発言分析・記述分析】** |  |
| ・太陽の向きと影の向きとの関係を調べる。 **（観察１）**  ・太陽の向きと影の向きとの関係についてまとめる。  ・学んだことを生かして影踏み遊びをする。 | 1  ⑵ | 87～88 | **知** |  | **〔知①〕**日陰は太陽の光を遮るとできることを理解しているかを確認する。 **【発言分析・記述分析】** |  |
| **態** | ◎ | **〔態②〕**影踏み遊びに進んで取り組み，影について学んだことを生かして，影を踏まれないようにする方法を考えようとしているかを評価する。 **【発言分析・行動観察】** |
| **2**  太陽のいちとかげの向き |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | ・午前と午後の影の資料写真を見て，影の向きについて気づいたことや疑問に思ったことを発表し合い，太陽の位置と影の向きについて調べる問題を見いだす。 | 1 | 89 | **思** | ◎ | **〔思①〕**午前と午後の影の向きについて気づいたことや疑問に思ったことから，差異点や共通点を基に，太陽の位置と影の向きについて問題を見いだし，表現しているかを評価する。  **【発言分析・記述分析】** |  |
| ・太陽の位置が変わるか，遮光プレートで観察する。 **（観察２ア）**  ・太陽の向きと影の向きを午前，正午頃，午後の３回ぐらい調べる。 **（観察２イ）** | 2 | 90～91 | **態** | ◎ | **〔態①〕**太陽の位置と影の向きを調べる活動に進んで取り組み，友達と互いに観察結果などを伝え合いながら，問題解決しようとしているかを評価する。 **【発言分析・行動観察】** |  |
| **知** | ◎ | **〔知②〕**太陽の位置と影の向きについて，方位磁針や遮光プレートなどを正しく扱いながら調べ，得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。 **【行動観察・記録分析】** |
| ・太陽の位置と影の向きの変わり方についてまとめる。  ・太陽と影について，学んだことをまとめる。 | 1 | 92～93 | **思** | ◎ | **〔思②〕**太陽の位置と影の向きの変わり方について，得られた結果を基に考察し，表現しているかを評価する。  **【発言分析・記述分析】** | p.93「たしかめよう」の問題を解く。  0.5時間 |
| **知** | ◎ | **〔知①〕**日陰は太陽の光を遮るとでき，日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わることを理解しているかを評価する。  **【発言分析・記述分析】** |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　重点……重点的に子どもの学習状況を確認する観点 合計0.5時間

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記録……全員の子どもの学習状況を記録に残す観点

**7**

**太陽の光を調べよう　１０月下旬～１１月中旬／７(８)時間**

**学習指導要領の項目　A(3)ア(ア)(イ)イ，B(2)ア(イ)イ**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **単元の目標** | **単元の観点別評価規準** | | | | | | |
| 日なたと日陰や，光を当てたときの明るさやあたたかさに着目して，それらを比較しながら，日なたと日陰の地面の様子や光の性質を調べる活動を通して，それらについての理解を図り，観察，実験などに関する技能を身に付けるとともに，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。 | **知識・技能〔知〕** | ①光は直進し，集めたり反射させたりできることを理解している。  ②物に日光を当てると，物の明るさやあたたかさが変わることを理  解している。  ③地面は太陽によってあたためられ，日なたと日陰では地面のあた  たかさや湿り気に違いがあることを理解している。  ④日なたと日陰の地面の様子や光の性質について，器具や機器など  を正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かり  やすく記録している。 |  | **思考・判断・表現〔思〕** | ①日なたと日陰の地面の様子や光の性質について，差異点や  共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解  決している。  ②日なたと日陰の地面の様子や光の性質について，観察，実  験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなど  して問題解決している。 | **主体的に学習に取り組む態度〔態〕** | ①日なたと日陰の地面の様子や光の性質についての事物・現  象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようと  している。  ②日なたと日陰の地面の様子や光の性質について学んだこと  を学習や生活に生かそうとしている。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **主な学習活動** | | 時間 | 教科書の  ページ | 重点 | 記録 | **評価の観点と方法** | **学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動** |
| **1**  日光のはたらき | |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・日なたと日陰の地面に手を当てるなどして，それぞれの様子の違いについて気づいたことや疑問に思ったことを発表し合い，太陽の光について調べる問題を見いだす。 | 1 | 94～96 | **思** | ◎ | **〔思①〕**日なたと日陰の地面の様子を調べる中で気づいたことや疑問に思ったことから，差異点や共通点を基に，日なたと日陰の地面のあたたかさについて問題を見いだし，表現しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** |  |
| ・温度計の使い方を知り，日なたと日陰の地面の温度を測って，記録する。　　　　　**（観察１）**  ・日なたと日陰の地面の様子の違いをまとめ，地面は日光によってあたためられることをまとめる。 | 2 | 97～98 | **知** | ◎ | **〔知④〕**日なたと日陰の地面の温度について，温度計を正しく扱いながら調べ，得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。 **【行動観察・記録分析】** | p.98「学びを生かして深めよう」の学習活動  0.1時間 |
| **思** |  | **〔思②〕**日なたと日陰の地面のあたたかさについて，得られた結果を基に考察し，表現しているかを確認する。  **【発言分析・記述分析】** |
| **知** | ◎ | **〔知③〕**地面は太陽によってあたためられ，日なたと日陰では地面のあたたかさや湿り気に違いがあることを理解しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** |
| **2**  はね返した日光 |  |  |  |  |  |  |
| ・鏡を使って日光をはね返し，日陰にある的に当ててみる活動を通して，問題を見いだす。  ・はね返した日光を日陰の地面にはわせ，日光の進み方を調べる。　　　　　　　　　**（観察２）**  ・はね返した日光が当たった所の明るさやはね返した日光の進み方についてまとめる。 | 1  ⑵ | 99～100 | **思** | ◎ | **〔思①〕**鏡を使って日光をはね返す活動を行う中で気づいたことや疑問に思ったことから，差異点や共通点を基に，はね返した日光について問題を見いだし，表現しているかを評価する。 **【発言分析・記録分析】** |  |
| **知** |  | **〔知①〕**鏡ではね返した日光は，まっすぐに進むことを理解しているかを確認する。 **【発言分析・記述分析】** |
|  | ・はね返した日光が当たった所の温度について調べる。　　　　　　　　　　　　　　**（実験１）**  ・はね返した日光が当たった所の明るさや温度についてまとめる。 | 2 | 100～102 | **態** |  | **〔態①〕**はね返した日光が当たった所の温度を調べる活動に進んで取り組み，友達と協力して調べたり，実験結果などを互いに伝え合ったりしながら，問題解決しようとしているかを確認する。 **【発言分析・行動観察】** | p.102「学びを生かして深めよう」の学習活動  0.3時間 |
| **知** |  | **〔知④〕**はね返した日光が当たった所の温度について，鏡や温度計などを正しく扱いながら調べ，得られた結果を分かりやすく記録しているかを確認する。 **【行動観察・記録分析】** |

（次のページに続く）　　　　　　　　　　　　　　　　　重点……重点的に子どもの学習状況を確認する観点

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記録……全員の子どもの学習状況を記録に残す観点

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **主な学習活動** | | 時間 | 教科書の  ページ | 重点 | 記録 | **評価の観点と方法** | **学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動** |
|  |  |  |  | **知** | ◎ | **〔知②〕**鏡ではね返した日光は，重ねて当てると，より明るくあたたかくなることを理解しているかを評価する。  **【発言分析・記述分析】** |  |
| **態** | ◎ | **〔態②〕**日光の明るさやあたたかさについて学んだことを生かして，日常生活について考えようとしているかを評価する。 **【発言分析・行動観察】** |
| **3**  集めた日光 |  |  |  |  |  |  |
| ・虫眼鏡で集めた日光が当たった所の明るさやあたたかさを調べる。　　　　　　　　**（実験２）**  ・日光を集めた所を小さくしたとき，明るく，あたたかくなることをまとめる。  ・太陽の光について，学んだことをまとめる。 | 1 | 103～105 | **知** | ◎ | **〔知①②③〕**はね返した日光や集めた日光の性質，日なたと日陰の地面のあたたかさや湿り気について理解しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** | p.104「理科のひろば」を読む。  0.2時間  p.105「たしかめよう」の問題を解く。  0.3時間 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　重点……重点的に子どもの学習状況を確認する観点 合計0.9時間

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記録……全員の子どもの学習状況を記録に残す観点

**8**

**音を出して調べよう　１１月中旬～下旬／５(５)時間**

**学習指導要領の項目　A(3)ア(ウ)イ**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **単元の目標** | **単元の観点別評価規準** | | | | | | |
| 音を出したときの震え方に着目して，音の大きさを変えたときの現象の違いを比較しながら，音の性質について調べる活動を通して，それらについての理解を図り，実験などに関する技能を身に付けるとともに，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。 | **知識・技能〔知〕** | ①物から音が出たり伝わったりするとき，物は震えていること，また，音の大きさが変わるとき物の震え方が変わることを理解している。  ②音の性質について，器具や機器などを正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 |  | **思考・判断・表現〔思〕** | ①音の性質について，差異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決している。  ②音の性質について，実験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。 | **主体的に学習に取り組む態度〔態〕** | ①音の性質についての事物・現象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとしている。  ②音の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **主な学習活動** | | 時間 | 教科書の  ページ | 重点 | 記録 | **評価の観点と方法** | **学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動** |
|  | |  |  |  |  |  |  |
| **2**  音の大きさ  **1**  音が出るとき |  |  |  |  |  |  |  |
| ・紙や輪ゴムなどで楽器を作って音を出し，音を出しているときの楽器の様子について気づいたことや疑問に思ったことを発表し合い，音が出たり伝わったりしているときの様子について調べる問題を見いだす。 | 1 | 106～108 | **思** | ◎ | **〔思①〕**自作の楽器で音を出す中で気づいたことや疑問に思ったことから，差異点や共通点を基に，音が出るときの物の様子について問題を見いだし，表現しているかを評価する。  **【発言分析・記述分析】** |  |
| ・楽器で音を出して，楽器が震えているか調べる。  **（実験１）**  ・音が出るときの物の様子についてまとめる。 | 1 | 109～110 | **態** | ◎ | **〔態①〕**音が出るときの物の様子を調べる活動に進んで取り組み，友達と協力して調べたり，実験結果などを互いに伝え合ったりしながら，問題解決しようとしているかを評価する。 **【発言分析・行動観察】** |  |
| **知** | ◎ | **〔知②〕**楽器などを正しく扱って，音を出し，音が出るときの様子を調べ，得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。 **【行動観察・記述分析】** |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| **3**  音のつたわり | ・音が大きいときと小さいときの楽器の震え方を調べる。 **（実験２）**  ・音の大きさと震え方についてまとめる。 | 1 | 111～112 | **思** | ◎ | **〔思②〕**音の大きさと物の震え方との関係について，調べた結果を基に考察し，表現しているかを評価する。  **【発言分析・記述分析】** | p.112「学びを生かして深めよう」の学習活動  0.2時間 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | ・音が伝わるとき，音を伝える物が震えているか調べる。 **（実験３）**  ・音が伝わるとき，音を伝える物が震えていることをまとめる。  ・糸電話で声を伝え合う。  ・音が出るときの物の様子について，学んだことをまとめる。 | 2 | 113～115 | **態** | ◎ | **〔態②〕**音が伝わるときの物の様子について学んだことを生かして，糸電話を作り，離れた場所に声を伝えようとしているかを評価する。 **【発言分析・行動観察】** | p.115「理科のひろば」を読む。  0.1時間  p.115「たしかめよう」の問題を解く。  0.2時間 |
|  | **知** | ◎ | **〔知①〕**物から音が出たり伝わったりするとき，物は震えていること，また，音の大きさが変わると物の震え方が変わることを理解しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　重点……重点的に子どもの学習状況を確認する観点 合計0.5時間

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記録……全員の子どもの学習状況を記録に残す観点

**9**

**物の重さをくらべよう　１２月／７(８)時間**

**学習指導要領の項目　A(1)ア(ア)(イ)イ**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **単元の目標** | **単元の観点別評価規準** | | | | | | |
| 物の形や体積に着目して，重さを比較しながら，物の形や体積と重さを調べる活動を通して，それらについての理解を図り，実験などに関する技能を身に付けるとともに，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。 | **知識・技能〔知〕** | ①物は，形が変わっても重さは変わらないことを理解している。  ②物は，体積が同じでも重さは違うことがあることを理解している。  ③物の形や体積と重さについて，器具や機器などを正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 |  | **思考・判断・表現〔思〕** | ①物の形や体積と重さについて，差異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決している。  ②物の形や体積と重さについて，実験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。 | **主体的に学習に**  **取り組む態度〔態〕** | ①物の形や体積と重さについての事物・現象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとしている。  ②物の形や体積と重さについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **主な学習活動** | | 時間 | 教科書の  ページ | 重点 | 記録 | **評価の観点と方法** | **学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動** |
| **1**  物の重さ調べ | |  |  |  |  |  |  |
| **2**  物の重さくらべ |  |  |  |  |  |  |  |
| ・形の違う粘土の重さを比べて，気づいたことや疑問に思ったことを発表し合い，物の重さについて調べる問題を見いだす。 | 1 | 116～118 | **思** | ◎ | **〔思①〕**形の違う粘土の重さを調べる中で気づいたことや疑問に思ったことから，差異点や共通点を基に，物の形と重さについて問題を見いだし，表現しているかを評価する。  **【発言分析・記述分析】** |  |
| ・粘土やアルミニウムはくの形を変えて，重さが変わるかどうか調べる。 **（実験１）** | 1 | 119 | **知** |  | **〔知③〕**電子てんびんなどを正しく扱いながら，物の重さを測定し，得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。 **【行動観察・記録分析】** |  |
| ・物の形と重さについてまとめる。  ・粘土の置き方を変えて，重さが変わるかどうか調べる。 | 1 | 120 | **知** | ◎ | **〔知①〕**物は，形が変わっても重さは変わらないことを理解しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** |  |
| **態** | ◎ | **〔態②〕**物の形と重さについて学んだことを生かして，置き方を変えたときの物の重さについて考え，調べようとしているかを評価する。 **【発言分析・行動観察】** |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  | ・形と大きさが似ている物を手で持って重さを比べたり，塩と砂糖などの物の重さについて考えたことを発表したりして，体積が同じ物の重さについて調べる問題を見いだす。  ・塩と砂糖の体積を同じにする方法を考える。 | 1 | 121～122 | **思** | ◎ | **〔思①〕**形と大きさが似ている物の重さを比べる中で気づいたことや疑問に思ったことから，差異点や共通点を基に，体積が同じ物の重さについて問題を見いだし，表現しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** |  |
|  | ・塩と砂糖の体積を同じにして，重さを比べる。  **（実験２）** | 2 | 123 | **知** | ◎ | **〔知③〕**塩と砂糖の体積を同じにして，電子てんびんを正しく扱いながら，物の重さを測定し，得られた結果を分かりやすく記録しているかを確認する。 **【行動観察・記録分析】** |  |
| **態** | ◎ | **〔態①〕**物の体積と重さとの関係を調べる活動に進んで取り組み，友達と協力して正確に実験を行い，問題解決しようとしているかを評価する。 **【発言分析・行動観察】** |
|  | ・体積が同じでも，物によって重さが違うことをまとめる。  ・同じ体積のいろいろな物の重さを比べる。  ・物の重さについて，学んだことをまとめる。 | 1  ⑵ | 124～125 | **思** | ◎ | **〔思②〕**体積が同じ物の重さについて，得られた結果を基に考察し，表現しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** | p.125「たしかめよう」の問題を解く。  0.5時間 |
|  | **知** | ◎ | **〔知②〕**物の形や体積と重さとの関係について理解しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** |
| **態** |  | **〔態②〕**物の体積と重さについて学んだことを生かして，いろいろな物の重さを予想し，実際に確かめようとしているかを確認する。 **【発言分析・行動観察】** |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　重点……重点的に子どもの学習状況を確認する観点 合計0.5時間

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記録……全員の子どもの学習状況を記録に残す観点

**10**

**明かりをつけよう　１月上旬～下旬／６(７)時間**

**学習指導要領の項目　A(5)ア(ア)(イ)イ**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **単元の目標** | **単元の観点別評価規準** | | | | | | |
| 乾電池と豆電球などのつなぎ方と乾電池につないだ物の様子に着目して，電気を通すときと通さないときのつなぎ方を比較しながら，電気の回路について調べる活動を通して，それらについての理解を図り，実験などに関する技能を身に付けるとともに，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。 | **知識・技能〔知〕** | ①電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があることを理解している。  ②電気を通す物と通さない物があることを理解している。  ③電気の回路について，器具や機器などを正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 |  | **思考・判断・表現〔思〕** | ①電気の回路について，差異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決している。  ②電気の回路について，実験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。 | **主体的に学習に取り組む態度〔態〕** | ①電気の回路についての事物・現象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとしている。  ②電気の回路について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **主な学習活動** | | 時間 | 教科書の  ページ | 重点 | 記録 | **評価の観点と方法** | **学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動** |
| **1**  明かりがつくつなぎ方 | |  |  |  |  |  |  |
| **2**  電気を通すものと通さない物 |  |  |  |  |  |  |  |
| ・豆電球，乾電池，導線を用いて明かりがつくつなぎ方を考え，気づいたことや疑問に思ったことを発表し合い，電気の通り道について調べる問題を見いだす。 | 1 | 126～128 | **思** | ◎ | **〔思①〕**明かりがつくつなぎ方を考える中で気づいたことや疑問に思ったことから，差異点や共通点を基に，電気の通り道について問題を見いだし，表現しているかを評価する。  **【発言分析・記述分析】** |  |
| ・豆電球に明かりがつくときのつなぎ方を調べる。  **（実験１）** | 1 | 129 | **知** | ◎ | **〔知③〕**豆電球に明かりがつくときのつなぎ方について，豆電球，乾電池，導線を正しく扱いながら調べ，得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。  **【行動観察・記録分析】** |  |
| ・豆電球に明かりがつくつなぎ方と回路についてまとめる。  ・導線を長くして，豆電球と乾電池をつないでみる。 | 1 | 130～131 | **知** | ◎ | **〔知①〕**電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があることを理解しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** | p.131「学びを生かして深めよう」の学習活動  0.2時間  p.131「理科のひろば」を読む。  0.2時間 |
| **態** | ◎ | **〔態②〕**電気の通り道について学んだことを生かして，導線を長くしても豆電球に明かりがつくかを考えようとしているかを評価する。 **【発言分析・行動観察】** |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  | ・回路の途中に鉄の釘や木の爪楊枝をはさんだときの様子を見て，電気を通す物について問題を見いだす。  ・調べる物が電気を通すかどうか調べる方法を考え，電気を通す物発見器を作る。 | 1 | 132～133 | **思** |  | **〔思①〕**回路の途中に鉄の釘や木の爪楊枝をはさんだときの様子を比べる中で気づいたことや疑問に思ったことから，差異点や共通点を基に，電気を通す物について問題を見いだし，表現しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** |  |
|  | ・回路にいろいろな物をつないで，電気を通す物を探す。 **（実験２）** | 1  ⑵ | 134～135 | **態** | ◎ | **〔態①〕**電気を通す物を調べる活動に進んで取り組み，友達と予想や実験結果などを互いに伝え合いながら，問題解決しようとしているかを評価する。 **【発言分析・行動観察】** |  |
|  | ・金属は電気を通すことをまとめる。  ・豆電球に明かりがつく回路のつなぎ方と電気を通す物について，学んだことをまとめる。 | 1 | 136～137 | **思** | ◎ | **〔思②〕**得られた結果を基に考察し，電気を通す物と通さない物に分類し，表現しているかを評価する。  **【発言分析・記述分析】** | p.136「理科のひろば」を読む。  0.1時間  p.137「たしかめよう」の問題を解く。  0.5時間 |
|  | **知** | ◎ | **〔知②〕**電気を通すつなぎ方や電気を通す物について理解しているかを評価する。 **【行動観察・記録分析】** |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　重点……重点的に子どもの学習状況を確認する観点 合計1時間

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記録……全員の子どもの学習状況を記録に残す観点

**11**

**じしゃくにつけよう　１月下旬〜２月下旬／８(１０)時間**

**学習指導要領の項目　A(4)ア(ア)(イ)イ**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **単元の目標** | **単元の観点別評価規準** | | | | | | |
| 磁石を身の回りの物に近づけたときの様子に着目して，それらを比較しながら，磁石の性質について調べる活動を通して，それらについての理解を図り，実験などに関する技能を身に付けるとともに，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。 | **知識・技能〔知〕** | ①磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があること，また，磁石に近づけると磁石になる物があることを理解している。  ②磁石の異極は引き合い，同極は退け合うことを理解している。  ③磁石の性質について，器具や機器などを正しく扱いながら調べ，それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 |  | **思考・判断・表現〔思〕** | ①磁石の性質について，差異点や共通点を基に，問題を見いだし，表現するなどして問題解決している。  ②磁石の性質について，実験などを行い，得られた結果を基に考察し，表現するなどして問題解決している。 | **主体的に学習に取り組む態度〔態〕** | ①磁石の性質についての事物・現象に進んで関わり，他者と関わりながら問題解決しようとしている。  ②磁石の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **主な学習活動** | | 時間 | 教科書の  ページ | 重点 | 記録 | **評価の観点と方法** | **学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動** |
|  | |  |  |  |  |  |  |
| **1**  じしゃくにつく物 |  |  |  |  |  |  |  |
| ・いろいろな物に磁石を近づけてみて，気づいたことや疑問に思ったことを発表し合い，磁石の性質と働きについて調べる問題を見いだす。 | 1 | 138～140 | **思** | ◎ | **〔思①〕**いろいろな物に磁石を近づける中で気づいたことや疑問に思ったことから，差異点や共通点を基に，磁石の性質と働きについて問題を見いだし，表現しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** |  |
|
|  | ・これまでに学んだことや経験したことを基に，どんな物が磁石につくか予想する。  ・いろいろな物に磁石を近づけて，磁石につくかどうか調べる。 **（実験１）** | 1  ⑵ | 141～143 | **態** |  | **〔態①〕**磁石につく物を調べる活動に進んで取り組み，友達と予想や実験結果を互いに伝え合いながら，問題解決しようとしているかを確認する。 **【発言分析・行動観察】** |  |
| **知** | ◎ | **〔知③〕**磁石につく物について，磁石を正しく扱いながら調べ，得られた結果を分かりやすく記録しているかを評価する。  **【行動観察・記録分析】** |
| ・鉄は磁石につくことをまとめる。 | 1 | 144 | **知** | ◎ | **〔知①〕**物には，磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があり，鉄は磁石に引き付けられる物であることを理解しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** | p.144「学びを生かして深めよう」の学習活動  0.2時間 |
| **態** | ◎ | **〔態②〕**磁石に引き付けられる物について学んだことを生かして，身の回りの物を仲間分けする方法を考えようとしているかを評価する。 **【発言分析・行動観察】** |
| **2**  じしゃくが鉄を引きつける力 |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | ・磁石は離れていても鉄を引き付けるか調べる。  **（実験２）**  ・磁石は離れていても鉄を引き付けることをまとめる。 | 1 | 145～146 | **知** |  | **〔知①〕**磁石が物を引き付ける力は，磁石と物が離れていても働き，その力は磁石と物の距離によって変わることを理解しているかを確認する。 **【発言分析・記述分析】** |  |
|  | **3**  極のせいしつ |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | ・磁石の極について知り，極の性質を調べる。  **（実験３）** | 1 | 147 | **知** |  | **〔知③〕**磁石の極の性質について，磁石を正しく扱いながら調べ，得られた結果を分かりやすく記録しているかを確認する。 **【行動観察・記録分析】** |  |
| ・磁石の極の性質をまとめる。  ・身の回りにある磁石を利用した物を探す。 | 1 | 148～149 | **知** | ◎ | **〔知②〕**磁石の異極は引き合い，同極は退け合うことを理解しているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** | p.148「学びを生かして深めよう」の学習活動  0.2時間  p.149「理科のひろば　方位じしん」を読む。  0.1時間 |

（次のページに続く）　　　　　　　　　　　　　　　　　重点……重点的に子どもの学習状況を確認する観点

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記録……全員の子どもの学習状況を記録に残す観点

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **主な学習活動** | | 時間 | 教科書の  ページ | 重点 | 記録 | **評価の観点と方法** | **学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動** |
| **4**  じしゃくにつけた鉄 |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | ・磁石につけた鉄の釘が磁石になっているかを調べる方法を考え，調べる。 **（実験４）** | 1  ⑵ | 150～151 | **態** | ◎ | **〔態①〕**磁石につけた鉄の釘が磁石になっているかを調べる活動に進んで取り組み，友達と予想や実験結果などを互いに伝え合いながら，問題解決しようとしているかを評価する。  **【発言分析・行動観察】** |  |
| **思** |  | **〔思①〕**磁石につけた２本の鉄の釘を磁石から離したときの様子を調べる中で気づいたことや疑問に思ったことから，差異点や共通点を基に，磁石についた鉄の性質に問題を見いだし，表現しているかを確認する。 **【発言分析・記述分析】** |
| ・磁石についた鉄の性質についてまとめる。  ・磁石の性質や働きについて，学んだことをまとめる。 | 1 | 152～153 | **思** | ◎ | 〔思**②**〕磁石についた鉄の性質について，得られた結果を基に考察し，表現しているかを評価する。**【発言分析・記述分析】** | p.152「学びを生かして深めよう」の学習活動  0.2時間  p.153「たしかめよう」の問題を解く。  0.5時間 |
| **知** | ◎ | 〔知**①**〕磁石の性質や働きについて理解しているかを評価する。 **【発言分析・行動観察】** |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　重点……重点的に子どもの学習状況を確認する観点 合計1.2時間

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記録……全員の子どもの学習状況を記録に残す観点

**つくってあそぼう　２月下旬～３月中旬／４(５)時間**

**学習指導要領の項目　A(2)(3)(4)(5)**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **単元の目標** | **単元の観点別評価規準** | | | | | | |
| 既習の内容を活用してものづくりを行う活動を通して，ものづくりに関する技能を身に付けるとともに，目的の物を完成させるための方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。 | **知識・技能〔知〕** |  |  | **思考・判断・表現〔思〕** | ①目的の物を完成させるための方法を発想し，表現している。  ②目的どおりの物が完成できたかを判断し，必要に応じて改善点を発想し，表現している。 | **主体的に学習に取り組む態度〔態〕** | ①ものづくりに進んで関わり，他者と関わりながら，目的の物を作ろうとしている。  ②これまでに学んだことを生かして，作る物を考えようとしている。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **主な学習活動** | | 時間 | 教科書の  ページ | 重点 | 記録 | **評価の観点と方法** | **学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動** |
| **1**  おもちゃをつくろう | |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・これまでに学んだことを振り返って，作りたいおもちゃを考え，発表する。 | 1 | 154～155 | **態** | ◎ | **〔態②〕**風やゴム，電気や磁石，音など，これまでに学んだことを生かして，作る物を考えようとしているかを評価する。 **【発言分析・行動観察】** |  |
| **思** | ◎ | **〔思①〕**自分が作りたい物を考え，目的の物を完成させるための方法を発想し，表現しているかを評価する。  **【発言分析・記述分析】** |
|  | ・各自で工夫して，おもちゃを作り，作った物を動かしてみる。 | 2 | 156 | **態** | ◎ | **〔態①〕**ものづくりの活動に進んで取り組み，友達の意見も参考にしながら，目的の物を完成させようとしているかを評価する。 **【発言分析・行動観察】** | p.156「活動」の学習活動（「１」の「計画にそって，自分で考えた物をつくる」活動のみ）  1時間  ※材料を持ち帰る必要がある。また，はさみやカッターナイフで手を切らないようにするなど，安全注意を教師が指導しておく。 |
| ・作ったおもちゃを持ち寄って，みんなで遊び，自分の作ったおもちゃの仕組みや遊び方を友達に説明する。 | 1  ⑵ | 157～158 | **思** | ◎ | **〔思②〕**作った物について，自分が作りたい物ができたかを判断し，さらに工夫したり修正したりする点がないかを考えて，表現しようとしているかを評価する。 **【発言分析・記述分析】** |  |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　重点……重点的に子どもの学習状況を確認する観点 合計1時間

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記録……全員の子どもの学習状況を記録に残す観点